

2014年3月期 第3四半期 決算参考データ

2014年1月31日

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

本資料に記載されている業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、経済情勢をはじめさまざまな要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おきください。

2014年3月期 第3四半期 業績(前年同期比)



	2012年度 Q3 実績(累計)		2013年度 Q3 実績(累計)		前年同期比	
	金額(億円)	利益率	金額(億円)	利益率	差異(億円)	伸び率
売上高	2,199	—	2,246	—	+47	+2.1%
売上総利益	565	25.7%	541	24.1%	▲23	-4.2%
販売費及び一般管理費	▲418	—	▲452	—	▲34	+8.2%
営業利益	147	6.7%	89	4.0%	▲57	-39.4%
経常利益	148	6.8%	91	4.1%	▲56	-38.3%
純利益	84	3.8%	51	2.3%	▲33	-39.3%
受注高	2,682	—	2,377	—	▲304	-11.4%
受注残高	1,849	—	1,993	—	+144	+7.8%

主な増減要因

【売上高】

携帯キャリア向けが減少するも、海外2社の連結子会社化による寄与や、エンタープライズ及び金融・社会インフラ分野の増加により増収

【売上総利益】

売上総利益率の低下により減益

【販売管理費】

海外2社の連結子会社化の影響が主要因

【営業利益・経常利益・純利益】

売上総利益率の低下、販売管理費の増加により減益

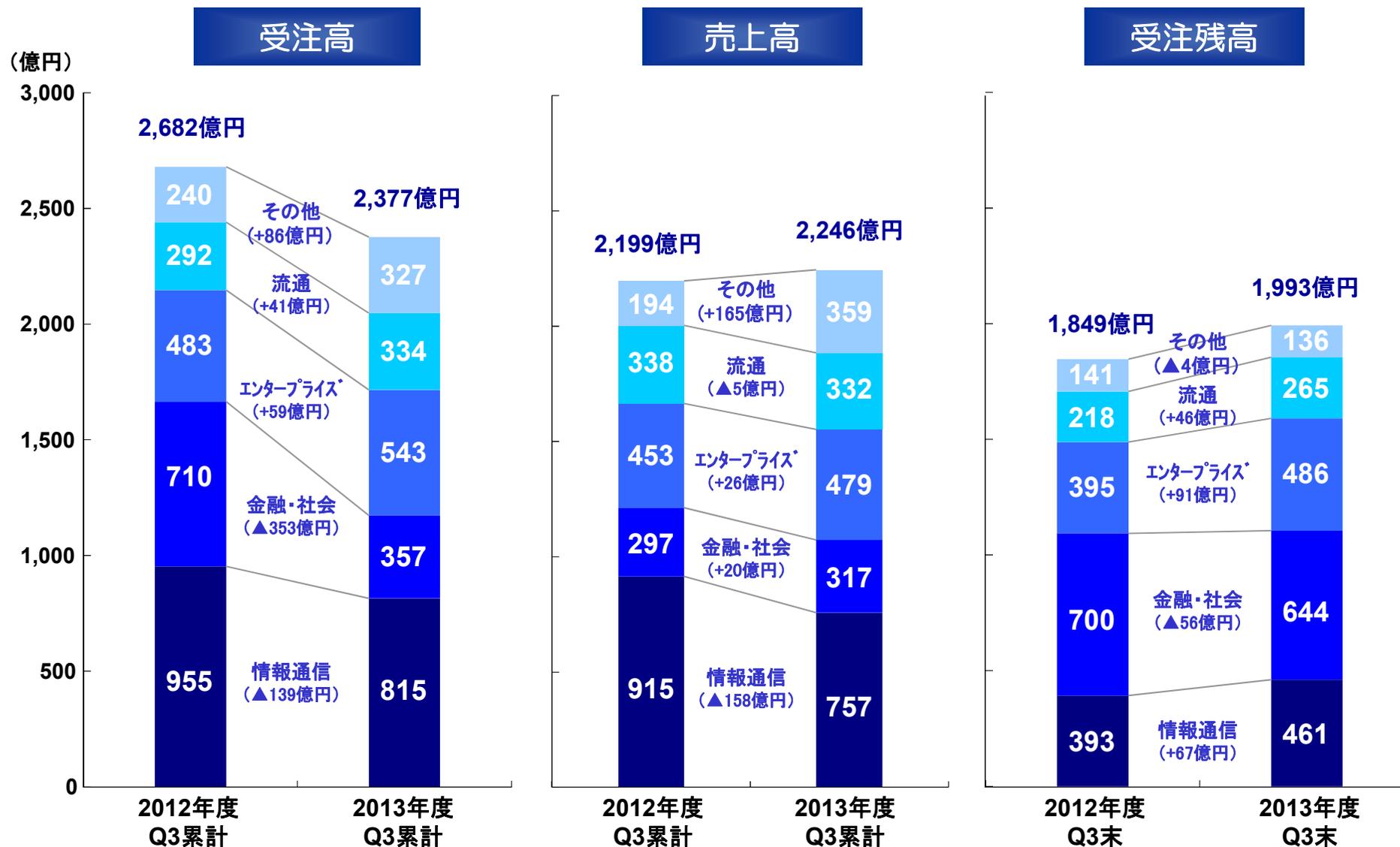
【受注高】

前年同期に受注した郵便向け大型案件の反動や、携帯キャリア向け案件の減少が主要因

【受注残高】

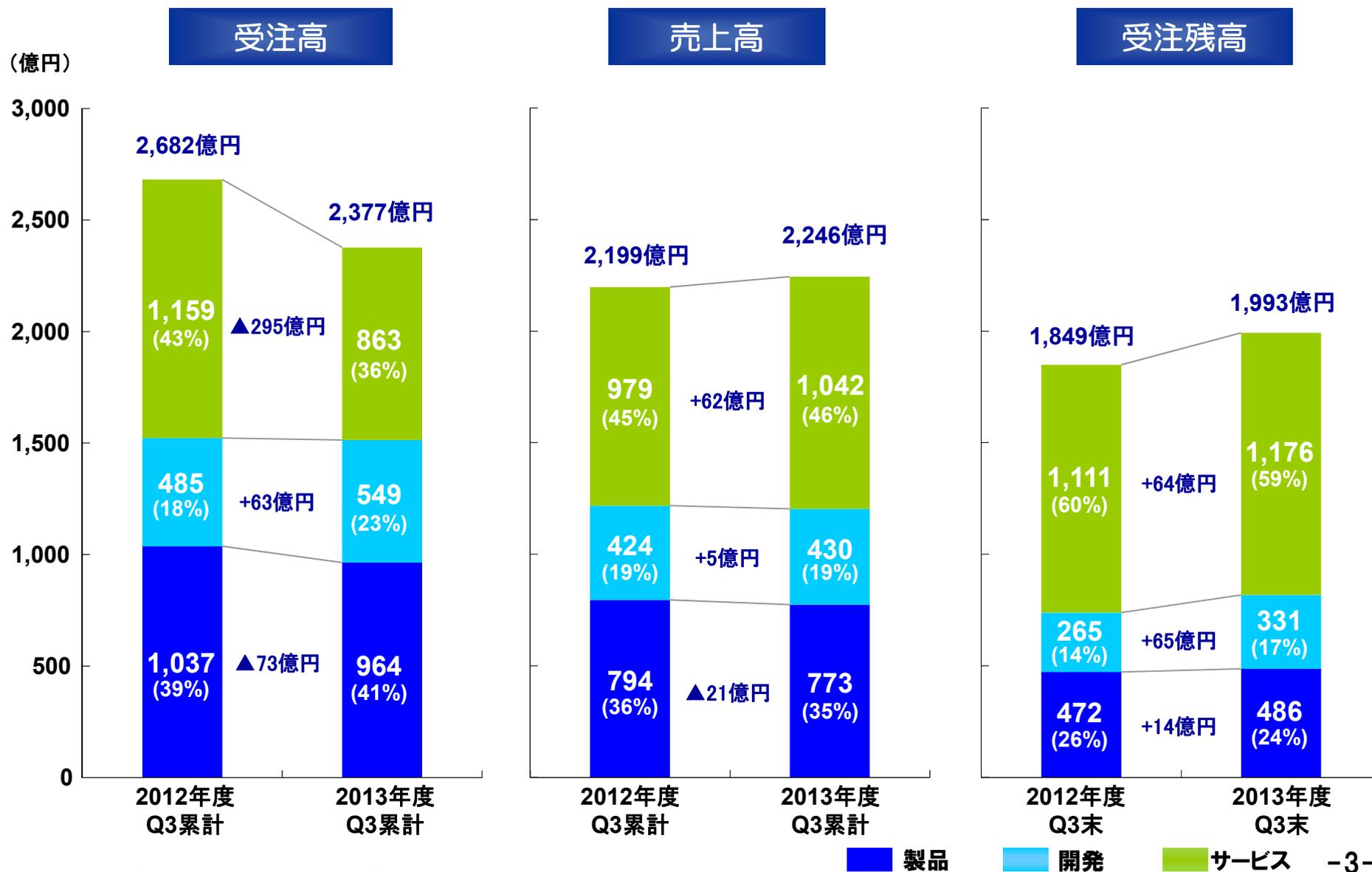
エンタープライズ、情報通信、流通分野における増加に加え、海外2社の連結子会社化の寄与により、受注残高はQ3末として過去最高

事業グループ別(前年同期比)

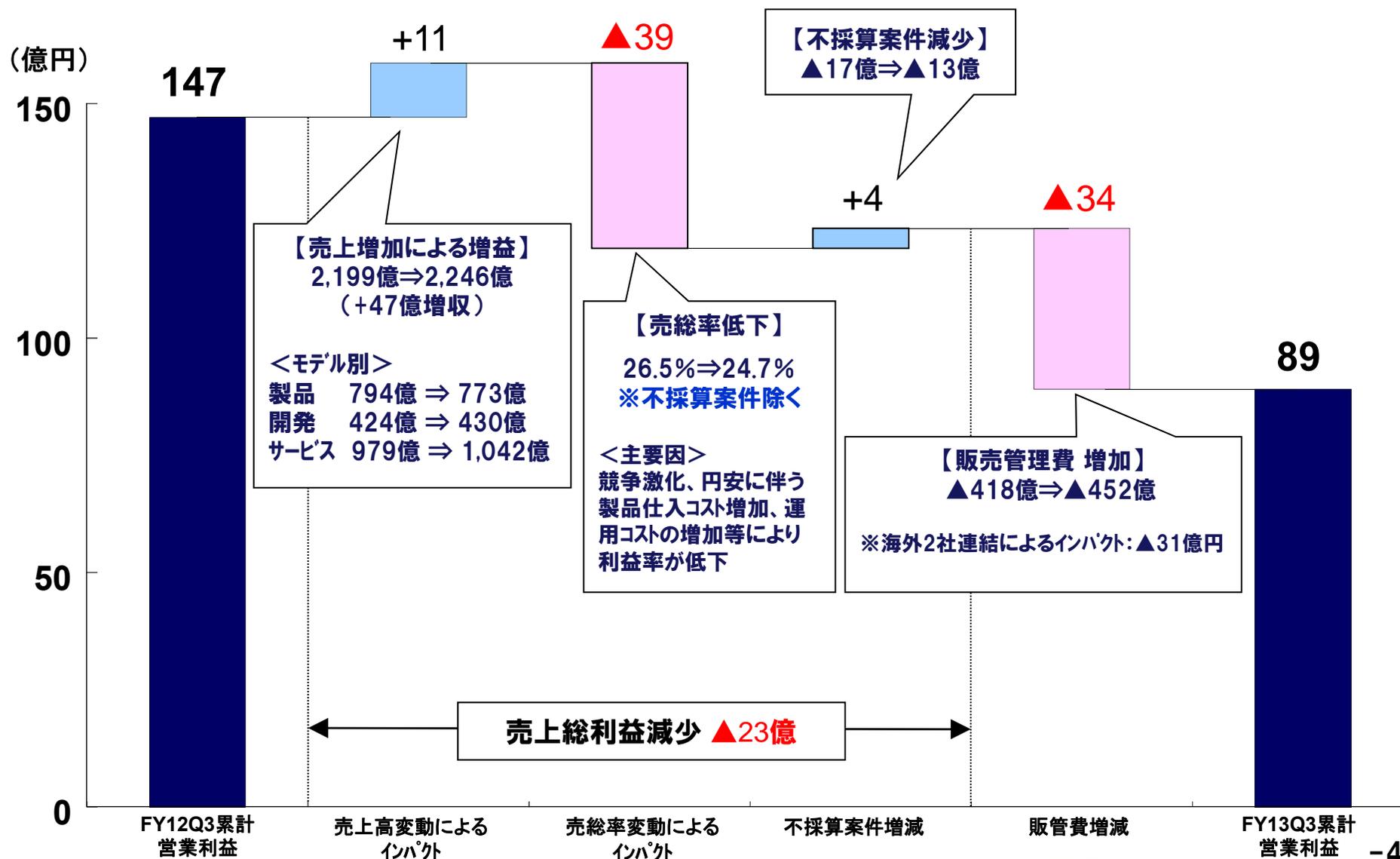


※2013年度の事業グループ組織再編に伴い、当ページに記載の2012年度Q3累計実績は、新組織ベースに組替えた値を使用しています。

ビジネスモデル別(前年同期比)



営業利益増減要因(Q3累計/前年同期比)



CTC

Challenging Tomorrow's Changes